



東横学園中学校・高等学校は今年四月から東京都大学等々力中学校・高等学校(海老原大樹校長)に変わります。

### 新校長インタビュー

東京都大学等々力  
中学校・高等学校

校長 海老原大樹氏

長、東京都世田谷区)に(ノブレス・オブリージ)とつながるという確信 海老原校長は校長に就任してすぐ行ったこと 園女子短期大学学長(同人五島育英会が設置すべき責任と義務)を基努める。

と東横学園という二つの設置し、進学校になるたも問われているのは感性について理解してもらっ 年生が在籍)、東京都 学校群を「都市大」グループに「学力革命」を目標の面で、自然を慈しむ心た。「先生方全員に賛成 大学副学長も務める。大 一フとし、これに伴い校 す。同校独自のプログラ や国を愛する気持ちを育 していた。先生方 学改革に身を置き、多忙 名変更した。 ムによって、毎日の学習 成することだと思いま の教育力を高めるために な生活を送っている。

## 校名変更し 共学部開始

## 人間形成と学力革命

海老原校長は「今後は人間形成をしっかりと行いながら、特徴ある学習支援をの到達状況を把握するこす」と人格形成に力を注も考えています」と教員に、社会的に本校の教育理念をしっかりと理解し

できる実力を育成し による個別指導を実施す 特に、英語力重視の点 「本校の何がどう変わったかを社会に発信してとしての存在意義がある。 たい」と力を込め ること、すべての教科の では、「日本の文化を何 ったかを社会に発信してとしての存在意義がある。 基本的能力である表現能 一つでもいいから英語 いく必要があります。法 のです」と海老原校長。

具体的には、平成 力を身につけることなど で説明できるような力を 人の広報と協力して、そいよいよ来年度から共学 二十二年から「oblesse oblige」を指す。体育指導の強身につけさせたい」と語 れをはっきり打ち出して 部が始まる。

記事の著作権はすべて全私学新聞運営委員会に帰属します。

無断での記事の転載、転用を禁じます。

全私学新聞運営委員会 千代田区九段北 4-1-26 / 03-3265-7551

<http://www.zenshigaku-np.co.jp/index.html>